

武蔵村山市立小中一貫校村山学園第四小学校説明会 質疑・応答の概要

日時：平成 21 年 7 月 30 日（木）

第一回（15:00～16:30）、第二回（19:00～20:30）

会場：緑が丘ふれあいセンター 男女共同参画センター多目的室

※ この概要は、当日又は説明会終了後のアンケート質問について回答した概要であり、逐語の記録ではありません。

【就学関係について】

Q 小学校に 23 年度以降に入学で、学区が違う場合、村山学園に人気があってたくさん希望者が集ってしまい、定員枠を超えてしまったら抽選になるのか。

A 受入れの状態に施設上の余裕がありますので、まずそれを超えるということは、今の段階では想定していません。その点については、現在のところ心配はないと考えています。

Q 学区外から通うとなると、例えば、子供がぼつんと帰るような感じになるのか。

A 集団下校については、市内各校の校長先生が様々なねらいで行っていますが、例えば中原であるとか、伊奈平のほうから村山学園に入られたお子さんがいたとして、本校が集団下校の時に一人になってしまうと心配です。

そういう御質問だと思いますが、その子はいつも遠くの中原であるとか、伊奈平のほうから通ってきているわけです。その子が、この集団下校の皆が集る瞬間に一人でぼつとなるかということ、おそらくそうはならないのではないかと考えます。

つまり、学校の先生方は配慮してくれるので、学区外から来ている子供たちのグループ等が出来て、その中で、では帰りましょうとなったときは、ある所までは行って、それからはそれぞれの普段の方法で帰っていくということが想定されます。

あるいは、同じ中原といっても広いですが、だんだん中原方面とか、あるいは伊奈平のほうから通ってくる子供たちはお互いに分かるわけです。学校もそういった意図的な配慮はしてくれたいと思いますが、そうするとその時は、普段もそうですが、一緒に帰りましょうというような形になってくるのではないかと思います。

集団下校自体は 9 月の防災の日の一斉引取りとか、あるいは四小では週に一回、水曜日にやっているのではないかと思います。そういうことは普段から行っていることなので、遠くから来ているお子さんに十分配慮するという中に、それも入るのではないかと考えています。

A 現在も学区外から就学の関係で指定校変更して来ている子供たちもいます。その子供たちは、そこに近いところの地域の列に入っていて、そこから帰りながら、最終的には自分の家のほうにそれぞれ分かれていきます。単独でということはありません。

Q 八小に通う現在2年生の娘がいる。妹2人がおり、23年度以降に入学予定のため、その時に転校させるべきか、先に来年度させるべきかと考えている。自宅が遠く迎えに行くことになるが、それまで、どこかで待っている場所（放課後子ども教室等）があるか心配である。

A 現在の2年生のお子様は、村山学園を希望する場合、基本的に平成22年度の開校年度のみ入学することが可能です。

平成23年度に就学するお子様2名については、基本的には八小が指定校になります。が、就学時に村山学園に就学することも可能です。

お子様3名が村山学園に就学するためには、現在八小に通うお子様が本年度に指定校変更の届出を出す必要がありますが、事前に教育総務課へ御連絡ください。

四小側に「放課後子ども教室」を整備しますので、そちらでお待ちいただいても結構です。

Q 新一年生で、定員が上回る希望があった場合どうするのか。最大40×3クラス=120人を想定しているが、130~140人程度の申し出があった場合の対応は。

1.9kmとはどこを基点とするのか。（自分で見て測るときに分からない。）

A 新1年生が121人以上になった際は、4クラス編成となりますが、申し出に対応できるよう受入れを行います。

自宅から村山学園までの直線距離が基準となります。村山学園は敷地が広いですが、自宅から村山学園（西門）までの直線距離とお考えいただいても結構です。

Q 来年度より通学区域が雷塚小から村山学園に変更する。現在5年生の姉がいるがどうなるのか。

A 村山学園の通学区域に変更になりますが、引き続き、雷塚小への通学も可能です。また、御兄弟がいる場合は、お姉さんが卒業するまでに、御兄弟が1年生に就学する場合は、引き続き雷塚小への入学が可能です。

Q 通学方法の関係で、自宅から九小区域まで、1.9km以上か、以下なのか調べてほしい。

A 通学距離等については、学校及び教育総務課で対応していきますので、村山学園第四小学校又は教育総務課へ御連絡をお願いします。

【教育課程等について】

Q いろいろな特色のある授業をされるということは分かったが、一貫教育となっていない他の小中学校と、使われる教科書などは一緒なのか、それとも特別なものを使うのか。

A 教科書は市内の他の学校と全く同じ教科書を使います。教育特別区というのをとっていないので、教える中身も小学校、中学校も市内の学校と同じです。

Q 教科書は市内の他の学校と同じということだが、何か特別な工夫はされるのか。

A 教員のほうを関わらせながら、協力授業等を進めることを考えています。施設一体型でないと、相互の教員の日常的な子供との関わりも少ないし、小学生と中学生と一緒に授業できる機会をそう多くは設定できないと考えていますが、それもできるだけ多く設定しながら、特に5、6、7年生を、先程、中一プロブレムの話が出ましたが、中学校1年生がどう適応できるかということで、小学校の教員がバックアップできる部分については授業、生活の面でもバックアップしていけるのではないかと考えています。

職員室も1つになっており、中学校3年生の担任でも、小学校1年生の子供が来れば対応します。先生方が1つの学校の子供という見方をするということが一番大きいのではないかと考えます。

Q 小学校1年生からの英語教育は、村山学園以外の学校ではやらないのか。

A 英語活動は、平成21年4月から市内全校で実施しています。中学校のALT教員が月4～5時間程度、市内小学校に回っています。英語活動は、市内の各小学校長が定める時間内で行っていきます。

村山学園では、小中一体型職員室があり、中学校の英語と小学校の英語活動のコラボレーションが可能です。学校が一緒であることから、中学校英語の教員から小学校の教員に協力することは、他校よりも行いやすいという特色があります。

中学校5校にはALTがおり、8時20分～5時まで常駐しています。村山学園では、曜日によって小学校側に入り学習指導が活発になります。英語クラブへの参加で小学校高学年にも加わっていきます。

Q 夏休みの授業というのは、どういうふうに行っているのか。

A 本年度から、市の規則が改正され、夏休みの8月25日以降について、各学校で授業開始日を設定できるということになりました。それに従い、その年の夏休み以降の開始をいつにするかということを決めていくという形になります。

今年度に関しては現在、村山学園第四小学校、第二中学校共に校舎の工事を行っているという関係で、通常通りの9月1日が始まりですが、来年度以降については、それが繰り上がるという計画も、全体の計画、年度計画の中で検討していくという形になります。

授業後は、現在も行っていますが、補習というようなイメージで、学習相談日というのが夏休み中に設けられていて、緑が丘ふれあいセンターの多目的室を使って今、

中学校も小学校も学級毎に、また、中学校のほうは対象の教科毎に日にちが決まっています、3～4日ぐらいの形で行っています。それはただ、授業ではなくて有志が参加の補習学習という形です。

Q 土曜日の授業設定は、補習授業のような形になるのか。それとも、午前中に授業があるというような形になるのか。

A 次年度の具体的な日程は決まっていますが、例えば本年度を参考にすると、四小の場合、土曜日授業を行い、通常ならば月曜日がお休みということがあります。ところが、本年度については、土曜日の午前中に授業を行った場合、その振替のお休みは無く、つまり土曜日に授業を行い、日曜日に休んで、月曜日から授業があるという形式で行っています。今年度は6回ほど実施しています。全ては公開という形で学芸会を含みますが、保護者や地域の皆様に公開しています。おそらく次年度も回数はおそらく、そのような形で、できるだけ公開する形で検討したいと考えています。

Q 高校への進路指導は、どのくらい熱心に行っているのか。また、中二卒業生の進学先は。

小学生への配慮に力を注ぎすぎて、中学生への注力をあまり感じられないことが気になる。

A 中学校では、キャリア教育として中1から中3まで3年間を見通した指導をしています。

進路先は、8月28日の6年生保護者向けの説明会でお話をします。また、学校へ連絡をいただければお答えします。

今回は、村山学園第四小学校としての説明会でしたので、小学校の説明が中心となりました。8月26日(金)16:00～17:00二中において村山学園第二中学校の説明会があります。御都合が付きましたら御参加ください。詳しくは、村山学園までお問い合わせください。

Q 小学、中学両方の免許をもっている先生は何人くらいいるのか。

A 四小では、管理職も含め19名中、11名が中学校の教科の免許をもっています。

Q 武蔵村山市の学力が都内で最下位に近いと聞いたが、何か対策はとっているのか。

A 市では、漢字検定を3、4年生全員に受講させるとともに、学力向上策のひとつとして授業改善推進プランを作成して、学力向上に向けて取り組んでいます。

【部活動について】

Q 部活は、5・6年生も中学生と同じになるのか。

A 部活については、現在、中学生以上ですが、次年度以降は5年生以上を対象に、部活の体験という形で部活動に参加できるような方向で検討を進めています。ただし、他校との試合ということになると、資格である年齢や学齢がネックになるので、中学生同様、試合に出て活躍するということは非常に難しいですが、少なくとも参加という形で部活動ができるように配慮していきたいと考えています。

Q 5、6年生の部活動は、中学生に混じっての参加ということか。

A そのとおりです。

Q 運動部のクラブ活動はあるか。村山学園の特色ある教育・設備等のパワーポイント資料を後日見ることは可能か。

A 小学校の課内（授業時間内）で行うクラブ活動では、サッカー、バスケットボール、卓球、ダンスがあります。また、教育委員会主催の小学生サッカー大会や市のミニバスケットボール協会の大会に向け、申し込みをした児童でチームを結成し、練習に励んでいます。

説明会時のパワーポイント資料は、今後、ホームページで公開していきます。

【学校行事について】

Q 入学式と卒業式は1回ずつになるのか。

A 村山学園として設定されますが、法律上は、小学校1年生から6年生までと、中学校1年生からと3年生までという、この制度は変わっていないので、入学式は1年生と7年生が対象、卒業式は6年生と9年生が対象ということで、それぞれ6年生も卒業式を行います。ただし、その中の多くの子供たちは、7年生として、学園としてはつながらずにはあると思いますが、卒業式としては6年生で小学校の教育課程は修了ということになります。

Q 具体的な運動会の日程はいつ頃か。兄妹で別々の学校になると、重なった場合は困る。

A 例年、運動会は5月に開催していますが、開校後は、9月下旬から10月上旬に開催します。

【標準服について】

Q 制服はどんなものか。

A 村山学園の新たな制服ということで、この8月、9月にかけて決定します。今までは男子は詰襟、女子はそれに合わせる制服だったが、ここで、制服の委員会を保護者

の方や地域の方々と開き、制服を替えようということでブレザー形式の制服になりました。中学1年生、すなわち7年生以上が制服となりますが、この後、コピーをお配りするので、確認していただきたいと思います。

小学生の制服に関しては、今後検討していくという方向となっていますが、今のところは7年生以上ということになっています。

【その他】

Q 「放課後子ども教室」とはどのようなものか。

A 本校は「放課後子ども教室」を次年度も継続して行っていく予定です。「放課後子ども教室」については、文科省からの「放課後の子ども達の過ごし方」ということで、制度上「学童保育」と「放課後子ども教室」というものができました。本校は「放課後子ども教室」を設置しているが、「放課後子ども教室」について、対象は1年生から6年生までを登録していますが、主に低学年の子供たちが放課後の時間を過ごすというところで、「放課後子ども教室」に行くことで下校ということになっています。「放課後子ども教室」には指導員の方がおり、指導員の方が校庭や教室を使って遊んだり、それから宿題に出たものを学習したりとか、そういうことを行っています。それは村山学園になっても、引き続き行っていきたいと考えています。

Q 放課後子ども教室はどのような主旨のものか。子供が進学したら、学童に入れる予定だが、学童のようなものか。学童との違いは何か。

A 放課後子ども教室は、生涯学習スポーツ課へ申し込み、学校の給食のある日の放課後に限り、サポーター（ボランティア）が学習や遊びの支援にあたっています。（費用は原則かかりません。）

学童クラブは子育て支援課に申し込み、給食のない日や土曜日にも実施しています。（諸経費があります。）

Q 放課後子ども教室は、毎日してもらえるのか。

A 学校の給食がある日に行っています。

Q 放課後子ども教室は、何時までか。

A 市のチャイムが鳴るまで行っています。（市のチャイムは季節によって時間が変わります。）

Q 村山学園は敷地内、また隣接地に学童クラブはあるか。

A それぞれの児童館の中に併設されています。緑が丘地域は第一学童。大南地域は第四学童があります。学校内にはありません。

Q 中学校の学校選択制は現状としてはどれぐらいか。

A 昨年度は、およそ 100 件の選択がありました。

Q 村山学園以外の他の小学校の説明会はないのか。

A 今回の説明会は、開校年度については全市域から受け入れるために開催したものです。通常は、小学校毎に来年 1 月～2 月、新入生入学説明会を開催します。また、10 月第 3 週には、「学校公開週間」があり、どの小学校でも訪問し、授業も公開されているので見学してください。

また、市教育委員会のホームページでは、全校の学校紹介をしており、市役所 4 階や教育センターでも学校だよりを掲示するとともに、自由に持ち帰りできるようになっています。

学校公開は、月 1 回実施している学校もあります。学校効果一覧表で確認できます。また、学校要覧を毎年 5 月に作成していますが、残部があれば学校でもお渡しできるので、各校の副校長に相談してください。

本市では村山学園だけに注視しているわけではありません。全校が特色ある教育に取り組んでいるので、是非、色々な学校を見学してほしいと思います。

Q 別途、個別に相談事項がある場合の問い合わせ窓口は。

A 教育目標・方針、特色ある教育・設備等については、村山学園第四小学校副校長へ、就学事務等については、教育委員会教育総務課又は教育政策担当へお願いします。

Q 通学区域は七小であるが、今後、小中一貫校になる予定はあるか。

A 施設一体型一貫校の計画は、現時点でございません。しかし、小中一貫校村山学園は、他の市内小中学校に対し、小中連携教育の発信校となる学校ですので、教育の成果を他校へも発信していきます。

現在、市内小中学校の教職員で組織する「小中連携教育推進委員会」において他の市立学校における連携教育のあり方等について検討を進めています。